

図書だより



新学年が始まって早1ヶ月。新しい環境にも少しずつ慣れてきた一方で、疲れが出てくる時期でもあります。そんな時こそ、特別棟3階の図書館をのぞいてみませんか？図書館には貴重な郷土資料から最新の小説・新書まで知的好奇心を刺激する本が約2万冊あります。また、進路選択や小論文関連の特設コーナーや、社会情勢を知るための新聞、生活を彩る雑誌もあります。もちろん自習にも利用できるのも、気軽に立ち寄って気分転換の助けにしてくださいね！



図書委員会より

先日の各種委員会で今年の年間目標が決まりました。

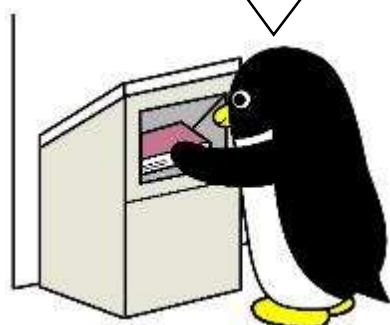
年間の平均貸出冊数を
一人当たり**6冊以上**にする

★昨年度、年間の平均貸出冊数は5.7冊でした。自分で購入したり、友達から借りたりして読んでいるとは思いますが、もっとも~っと図書館から借りて読んでみませんか。みなさんの読書ライフが充実するよう、図書委員会も様々な活動をしていきたいと思っています！

図書館では読みたい本のリクエストを受け付けています。書名や著者がわからなくても、司書が本探しのお手伝いをしますので心配ご無用！



図書の貸出期間は2週間です。期限内の返却を心がけよう。



今月のピックアップ図書

『君のクイズ』小川 哲^{さとし}（朝日新聞出版）

直木賞作家の小川哲さんが競技クイズを題材にして書き上げた長編小説『君のクイズ』をご紹介します。中村倫也さん主演で実写映画が公開されるということで、様々なメディアで話題となっています。

【あらすじ】
クイズ番組の決勝で、1文字も問題が読まれぬうちに対戦相手が解答し、正解できたのはなぜか？真相を解明しようと主人公・三島玲央は対戦相手について調べ始める。



朝読におすすめ

短編・ショートストーリー・エッセイ特集

— 10分で読めて、10倍心に残る —

「朝読は時間が足りない」「長編は途中で止まってしまう」そんな人におすすめなのが短編小説やエッセイです。1話完結、または短い章で構成されているので、朝の10分読書にぴったり。今日はその中から、高校生におすすめの本を紹介します。

『ビブリア古書堂の事件手帖』 三上 延^{えん}

古書店を舞台に、本にまつわる謎を解くミステリー。1話ずつ完結しているので、2～3日で1話ずつ読むことができます。本好きにも、ミステリー初心者にもおすすめ。

『人生を変えたコント』 せいや(霜降り明星)

お笑いコンビ、霜降り明星のせいやさんの半自伝的小説。1話10ページ程度で1日1話読めます。いじめという重いテーマですが、読後は前向きな気持ちになれます。



『星新一 YA セレクション』 星 新一

数ページで完結する超短編の名作ぞろい。10分あれば2～3話読めることも。「考える力」を刺激されたい人におすすめです。

『世界から猫が消えたなら』 川村 元気

30歳の僕が経験した不思議な1週間を、月曜日から日曜日までの7章で書いた小説です。「大切なもの」について、考えさせられる物語です。

『風と共にゆとりぬ』 朝井 リョウ

本の装丁からは予想できない抱腹絶倒のエッセイ。この本の帯にも書いてありますが、「読んで得るもの特になし!!」ひたすら笑える読書体験ができます。

『愛×数学×短歌』 横山 明日希編集

Twitter上で実施された「愛と数学の短歌コンテスト」に投稿された短歌を中心に編集したもの。長い文章が苦手でも、三十一文字で**キュン**が味わえます。

『道具のブツリ』 田中 幸・結城 千代子

日々活用しているいろんな生活道具とそこに隠された物理をひも解く、風変わりな、やさしい物理学の入門書。1つの道具につき5～6ページの短さで、味のある挿絵も素敵です。



短編やエッセイは、「最後まで読み切れる」、「達成感がある」、「気分に合わせて選べる」などのメリットがあります。「今日はこの1話だけ。」そんな読み方も立派な読書です。まずは、続けることを大切にしてみましょう。

